

授業科目名： **事業計画演習（沖田・村上） 【2019 春学期開講分】**

科目区分： 演習（発展）

必修・選択の別： 必修

配当年次： 2 年次

単位数： 4 単位（学習期間 2 学期）

担当教員： [沖田 貴史](#)

副担当教員： [村上 半治郎](#)

オフィスアワー（授業相談の受付）：

e ラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。

（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

1. 授業の概要

本番と同じ前提で、各学生がテーマを決めて企画立案からビジネスモデルの作成を行い、事業計画の設計を進める。計画を実施するために必要な収支計画・資金調達計画なども設計を行い、想定している発表会において、教員および学外専門家からの評価・指導を頂く。

2. 学習目標

当大学院の各授業にて習得した知識や方法論を実際に駆使できる能力とするための応用力の強化を目標とする。その上で、各学生自らが起業を行うもしくは企画部門で事業設立を行う前提で、実社会にて通用する事業計画書を作成することを最終目標とする。

3. 当ゼミの特色

- ・経営者としての、新産業、新規事業の立ち上げ経験を生かし、インターネットなどのテクノロジーを活用した社会問題の解決に関して、自身の上場経験（日本および香港市場）なども生かした議論を行って参ります。
- ・副担当教員の村上先生は、金融機関および事業会社において、新規事業の立案のほか、M&A や PMI などの経験を有し、事業計画の作成、資金調達などの知見を有しています。
- ・身近な社会問題の解決をテーマとしつつ、上場やその後の成長にも耐えられるような規模感・スケールを伴う事業や産業の創出を共に考えて参ります。

4. 求める受講者

- ①自身の経験・環境に即した社会問題の解決に興味が高い人
- ②先端技術を積極的に活用することで、イノベーションを実践していきたい人
- ③国際的なビジネス展開を志向、実践したいと思う人

5. 授業計画

1. オリエンテーション、事業アイデア、解決課題の発表（ディスカッション）
2. 解決課題の明確化、事業ビジョン、ミッションステートメント（ディスカッション）
3. ビジネスモデル、バリュープロポジション（ディスカッション）
- 4~15. 各自ディスカッション及びテーマ設定
16. 中間報告
17. 課題の洗い出し及びフィードバック

- 18. 資金調達戦略、組織設計
- 19~31. 事業計画書作成
- 32. 最終報告

6. 受講上の留意点

各ゼミで提示されるスケジュールに沿ってご受講ください。

7. 成績評価基準

平常点（40%）＋中間報告（10%）＋最終報告（50%）

最終報告の評価項目は以下のとおり

1	ビジョン／理念／志	10%
2	ビジネスモデル・収益性	10%
3	市場性・スケーラビリティ	10%
4	競争優位性	10%
5	裏づけ調査による根拠	10%
6	必須要素の網羅と完成レベル	50%

※この科目は、以下の資料を期日厳守で提出頂くことが必須となります。

- ・プレゼン資料（Power point）
- ・事業計画書（Word）
- ・Before & After 表

8. 必読書籍・参考書籍

授業内容とスケジュールに合わせて教員から適時提示する

9. その他

「事業計画演習」は年間で4単位となるため、【春・秋】もしくは【秋・春】の履修登録の際には、それぞれ2単位（1科目）として扱います。後半学期の履修登録の際には、既に2単位を登録済み（履修中）と考えますので、履修できる単位数は11単位までとなります。

基本的に毎月1回対面授業を予定しています。